

令和5年度 行政評価の取組結果（消防局）

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）					
II-1-(2)-① 医療・救急体制の充実	1	③ ④	応急手当の普及啓発活動の推進	救急課	消防局救急課	市民の救命効果の向上を図るため、AEDの取扱いを含めた応急手当の普及啓発活動を推進する。 応急手当講習の受講者数 ※中期目標改訂（R5年度目標設定時）	4,632人 (R2年度)	目標 30,000 人	実績 25,039 人	達成率 83.5 %	30,000 人 (毎年度)	2,160	976	963	20,370	順調	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、公募による講習の受講者数の制限を1講習あたり20人から30人に緩和し、実績が増加したため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 救急救命士の養成については計画どおり実施できている。 また、応急手当普及啓発については実績が増加した。 以上のことから「順調」と判断。
	2	①	救急体制の充実強化	救急課	消防局救急課	質の高い救急救命処置を提供できる体制に向け、計画的に救急救命士を養成する。 高度かつ安全で 確実・迅速な救 命処置	—	目標 —	実績 —	達成率 —	高度かつ安全で 確実・迅速な救 命処置 (毎年度)	14,564	14,735	14,079	20,370	順調	救急救命士を計画通りに養成し、令和4年度未実施となった追加講習を完遂したため、「順調」と判断。	順調	【課題】 応急手当講習については、人数制限を緩和したことで実績は増加したが、より多くの市民に参加を促すための更なる工夫が必要である。
II-1-(4)-③ 総合的な消防防災体制の構築	3	①	自主防災活動の推進	予防課	消防局予防課	地域防災力の向上を目的として、市民防災会の活動支援と訓練指導等を行う。 全192地区における市民防災推進行事への年1回以上の参加 ※中期目標改訂（R5年度目標設定時）	—	目標 192 地区・回	実績 192 地区・回	達成率 100.0 %	192 地区・回 (毎年度)	6,550	6,596	6,543	6,675	順調	各市民防災会が、防災に関する啓発事業や研修会等の自主防災活動を実施している。 また、校区会長や地区会長等対象の「防災リーダー研修」実施により、全町内会（2,784町内会）に1人以上の防災リーダーがいる（受講者合計：5,095人）。地域防災力が向上し、自主防災活動が進んでいるため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 防災に関する啓発事業や「防災リーダー研修」等を通じて地域防災力を向上させるとともに、高齢者・障害者等の世帯への訪問による火災予防啓発や、住宅用火災警報器の設置及び維持管理に関する啓発により、火災や焼死者事故の防止に努めている。 また、消防団の充足率は令和4年度と比較し低下しているものの、チラシの配布やSNSでの発信等、入団促進に取り組む、政令市の平均を上回っている。 以上のことから、「順調」と判断。
	4	①	住宅防火対策の推進	予防課	消防局予防課	高齢者・障害者等の世帯への訪問を行い、防火・防災啓発に努めるとともに、火災や焼死事故等の防止に努める。 住宅用火災警報器の設置率 毎年度算出される全国平均設置率 R3：83.1%	—	目標 全国の平均設置率と同程度（R3：83.1%）	実績 86.9 %	達成率 104.6 %	全国の平均設置率と同程度（R3：83.1%） 住宅用火災警報器の設置率向上（毎年度）	717	781	175	22,400	順調	住宅用火災警報器の設置や維持管理の促進の啓発を行っており、住宅用火災警報器の設置率も全国平均以上のため、「順調」と判断。	順調	【課題】 市民防災会の活動支援では若年層の参加促進が必要である。 高齢者や障害者世帯への訪問では、住宅用火災警報器の設置率は全国の平均を上回っているものの、さらなる住宅火災による死者数や被害の低減を図るため広報活動を充実させる必要がある。 消防団については、若年層

令和5年度 行政評価の取組結果（消防局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題				
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)						予算額 (千円)	決算額 (千円)		
5	①		消防団の充実 強化	消防 団課	消防 局消 防団 課	老朽化した消防 団施設の建替えを 計画的に進めると ともに、消防団の 装備の充実強化を 図る。 また、消防団員 の活動を積極的に PRするなど、消防 団への入団促進を 図る。	消防団施設整備 による地域防災 力の向上	目標	—	施設	施設	地域防 災力の 向上 (毎年 度)	73,739	95,101	87,467	5,470	順調	消防団員の充足率は令和4年 度と比較し低下したものの、 政令指定都市の平均83.8%を 上回った。 消防団施設についても、計 画的に整備できたため、「順 調」と判断。		の参加促進など消防団員の充 足率向上のためにも、入団促 進に関する広報活動が重要で ある。			
								実績	—	施設	施設										達成率	100.0 %	100.0 %
II-2-(1)-③ 住み慣 れた地 域での 生活支 援	6	③	① あんしん通報 システム	予防 課	消防 局予 防課	健康上特に注意 が必要な高齢者や 重度の身体障害が ある人等の家に火 災センサーやペン ダント型送信機を 付加した緊急通報 装置を設置し、火 災や救急事案等に 対し、迅速な対応 を行う。 また、緊急通報 に対する民間警備 員の駆けつけや医 療・福祉スタッフ の24時間の相談対 応により、高齢者 等が住み慣れた地 域で安心して生活 できるよう支援す る。	高齢者等の安 全・安心な生活 の実現	目標	—	—	政令指 定都市 の平均 充足率 以上 (83.8%)	政令指 定都市 の平均 充足率 以上 (毎年 度)	47,915	48,779	45,854	9,050	順調	安定的に運営できているた め、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 あんしん通報システムは、 安定的に運用ができており火 災や救急事案等に対し迅速な 対応ができる体制が整ってい る。 いきいき安心訪問は事業の 再開は遅れたものの、訪問件 数の目標をおおむね達成して いる。 以上のことから「順調」と 判断。 【課題】 あんしん通報システムを継 続して安定的に運営するとと もに、いきいき安心訪問につ いては関係機関と引き続き連 携し、更なる達成率の向上を 図る必要がある。			
								実績	—	—											89.1% (R4.4.1)	84.7 %	84.4 %
								達成率	—	—											※中期目標改訂 (R5年度目標設 定時)	88.2 %	100.7 %

令和5年度 行政評価の取組結果（消防局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題					
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）				
	7	⑩	いきいき安心 訪問	消防 団課	消防 局消 防団 課	介護職員初任者 研修を修了した消 防団員が中心とな り、一人暮らし高 齢者世帯等を訪問 し、防火・防災や 家庭内での事故防 止の指導、簡単な 身の回りのお世話 を行うとともに、 福祉に関する相談 を関係機関につな ぐなど、高齢者の 安全・安心の向上 を図る。	消防団員による 年間訪問世帯数	—	目標 2,464 世帯	実績 0 世帯	達成率 0.0 %	2,240 世帯	1,702 世帯	76.0 %	火災や 重大事 故発生 の未然 防止 （毎年 度）	1,430	8,736	3,795	990	順調	新型コロナウイルス感染症 の影響により、事業の再開が 遅れたが、訪問件数の目標を おおむね達成したため、「順 調」と判断。			
Ⅱ-3- (4)-② 国際協 力・交 流の推 進	8	④ ⑩ ⑪ ⑬ ⑭ ⑮ ⑰	【施策評価の み】 アジアの消防 リーダーとし ての国際協力	訓練 研修 セン ター	消防 局訓 練研 修セン ター	【施策の内容】 アジア地域の消 防関係者を受け入 れ、北九州市消防 局の消防・防災に 関する技術移転を 行う。	【施策の指標】 アジア地域から の研修員受け入 れ継続	アジア 地域か らの研 修員受 け入れ 継続	目標 受入	実績 2 名	達成率 —	受入	5 名	—	アジア 地域か らの研 修員受 け入れ 継続 （毎年 度）	—	—	—	—	—	—	【評価理由】 新型コロナウイルス感染症 の影響による研修の制限等は なくなり、アジア地域から5カ 国5名の研修生を受け入れたた め、「大変順調」と判断。 【課題】 継続的に研修生の受け入れ ができるよう、国際協力機構 （JICA）と連携を密にしてい く必要がある。	大変 順調	
Ⅲ-2- (2)-② 市民の 文化芸 術活動 の促進	9	④ ⑮ ⑯	消防音楽隊に よる文化活動	訓練 研修 セン ター	消防 局訓 練研 修セン ター	市主催の式典や 消防の各種行事等 に出演し、市民参 加向上の役割を担 うとともに、音楽 隊の演奏やカラー ガード隊の演技を 通じて、市のPR活 動や防火・防災啓 発活動を実施す る。 併せて、児童の 健全な育成等に寄 与することを目的 に、教育機関と連 携し、積極的に児 童教育に貢献す る。	消防音楽隊出演 の聴衆者数	91,895 人 （R1年 度）	目標 95,000 人	実績 67,359 人	達成率 70.9 %	95,000 人 （毎年 度）	92,128 人	97.0 %	95,000 人 （毎年 度）	4,816	6,284	6,235	4,615	順調	消防音楽隊による演奏や演 技を通じた防火・防災の普及 活動について、円滑に運営で きており、防火・防災啓発及 び教育機関と連携した児童の 健全な育成等に寄与している ため、「順調」と判断。 【課題】 更なる防火・防災意識の醸 成のため、引き続き消防音楽 隊による演奏や演技を通じた 普及活動を継続していく必要 がある。	順調		

令和5年度 行政評価の取組結果（消防局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度		中期 目標	決算額 （千円）					
VII-1-(3)-② 上下水道、消防、交通などの分野における国際協力の推進	10	④ ⑩ ⑪ ⑬ ⑭ ⑮ ⑰	【施策評価のみ】 アジアの消防リーダーとしての国際協力	訓練 研修 センター	消防局訓練センター	【施策の内容】 アジア地域の消防関係者を受け入れ、北九州市消防局の消防・防災に関する技術移転を行う。	【施策の指標】 アジア地域からの研修員受け入れ継続	アジア地域からの研修員受け入れ継続	目標 受入	実績 2名	5名	アジア地域からの研修員受け入れ継続（毎年度）	—	—	—	—	—	【評価理由】 新型コロナウイルス感染症の影響による研修の制限等はなく、アジア地域から5カ国5名の研修生を受け入れたため、「大変順調」と判断。 【課題】 継続的に研修生の受け入れができるよう、国際協力機構（JICA）と連携を密にしてい く必要がある。
								達成率	—	—								